

平成 21 年度 事業報告

財団法人 全日本軟式野球連盟

平成 21 年度事業報告

1. 評議員の変更について

支 部	旧評議員	→	新評議員
北海道	渡 部 弘 道	→	長 野 昭 彦
宮城県	横 山 定 夫	→	高 橋 正 則
山形県	渡 辺 孝 一	→	土 田 良 雄
福島県	宗 像 豊 巳	→	花 澤 興 一
栃木県	渡 邊 起 祐	→	野 口 訓
埼玉県	東 泉 嘉 一	→	程 塚 孝 作
東京都	牧 野 勝 行	→	鈴 田 良 男
山梨県	斉 藤 功	→	天 野 祐 治
長野県	西 澤 茂 芳	→	宮 坂 進
石川県	清 水 紀 良	→	野々市 孝
静岡県	森 村 謙 司	→	小 柳 智 司
奈良県	大 畑 清 重	→	中 田 昭 夫
和歌山県	加 太 久 雄	→	大 西 利 夫
島根県	岸 正 紀	→	高 橋 貞 夫
岡山県	合 田 晴 重	→	豊 福 三 郎
広島県	平 田 正 文	→	西 上 紀 生

2. 会議関係

会 議	開催日	於
理 事 会	21.4.23	全 軟 連
〃	21.12.3	〃
〃	21.12.14	〃
〃	22.1.28	〃

会 議	開催日	於
技 術 委 員 会	21.12./11~13	全 軟 連
	22.2.17	京 都
〃	22.2.18	〃
公 認 会 計 士 監 査	22.1/14,15,18,19	全 軟 連
連 盟 監 事 監 査	22.1.22	〃

3. 平成 21 年度 支部・登録チーム

一般（社会人）
 少年部（中学生）
 学童部（小学生）
 大学協会
 専門学校
 還暦連盟
 中体連

支 部 数 47
 末 端 支 部 数 920
 加 盟 連 盟 等 4
36,618 チーム
6,643 チーム
14,714 チーム
498 校
201 校
428 チーム

} **57,975** チーム

支 部	一 般	少 年		計
		少年部	学童部	
北海道	2,058	333	916	3,307
青森	190	294	172	656
岩手	502	171	275	948
宮城	442	171	360	973
秋田	371	21	229	621
山形	128	108	168	404
福島	625	434	92	1,151
茨城	1,007	223	292	1,522
栃木	1,800	164	386	2,350
群馬	1,012	28	316	1,356
埼玉	1,020	256	768	2,044
千葉	1,002	418	626	2,046
東京	3,050	52	1,500	4,602
神奈川	2,107	66	912	3,085
山梨	223	97	149	469
新潟	437	227	342	1,006
長野	1,005	155	260	1,420
富山	455	84	172	711
石川	206	90	155	451
福井	251	66	133	450
静岡	1,007	243	292	1,542
愛知	3,005	430	670	4,105
三重	390	156	182	728
岐阜	1,307	232	510	2,049
滋賀	221	94	236	551

支 部	一 般	少 年		計
		少年部	学童部	
京 都	869	53	390	1,312
大 阪	3,000	46	410	3,456
兵 庫	2,010	334	459	2,803
奈 良	338	95	198	631
和 歌 山	188	9	348	545
鳥 取	220	45	150	415
島 根	181	55	129	365
岡 山	321	11	143	475
広 島	1,006	68	185	1,259
山 口	535	25	155	715
香 川	251	65	138	454
徳 島	180	72	137	389
愛 媛	340	120	65	525
高 知	251	55	95	401
福 岡	780	215	351	1,346
佐 賀	259	84	157	500
長 崎	173	138	67	378
熊 本	336	168	248	752
大 分	303	121	246	670
宮 崎	210	113	144	467
鹿 児 島	416	32	99	547
沖 縄	630	106	287	1,023
合 計	36,618	6,643	14,714	57,975
前 年 比	-92	912	-260	560

4. 競技会関係（主催大会）

下記の通り開催し、無事終了した

大会名	会期	会場	参加 チーム数	優勝
天皇陛下御在位 20 年記念 天皇賜杯第 64 回 全日本軟式野球大会	9 月 11 日(金) ～16 日(水)	金 沢 市 他	57	福井・セーレン(株)
高松宮賜杯 第 53 回全日本軟式野球大会	1 部 9 月 18 日(金) ～21 日(火)	熊 本 市 他	32	神奈川・Y・S クラブ
	2 部 10 月 9 日(金) ～12 日(月)	水 戸 市 他	32	埼玉・山下ゴム株式会社
高円宮賜杯 第 29 回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント	8 月 14 日(金) ～19 日(水)	新 宿 区 他	51	石川・西南部サンボーイズ
第 26 回全日本少年軟式野球大会	8 月 16 日(日) ～20 日(木)	横 浜 市 他	18	京都・西京ビッグスターズ
第 64 回国民体育大会 (トキめき新潟国体)	成年 男子 9 月 25 日(金) ～30 日(水)	三 条 市 他	32	兵庫・日亜鋼業株式会社
第 31 回 東 日 本 軟 式 野 球 大 会	1 部 6 月 5 日(金) ～8 日(月)	盛 岡 市 他	29	長野・キッセイ薬品工業株式会社
	2 部 6 月 5 日(金) ～8 日(月)	盛 岡 市 他	29	埼玉・入間東部地区消防組合
第 31 回 西 日 本 軟 式 野 球 大 会	1 部 5 月 8 日(金) ～11 日(月)	長 崎 市 他	26	福岡・北九州サニクリーン
	2 部 7 月 3 日(金) ～6 日(月)	倉 敷 市 他	25	山口・イチマルサンイチ
水戸市長旗 第 17 回東日本軟式野球選手権大会	11 月 6 日(金) ～10 日(火)	水 戸 市 他	28	群馬・太田市役所
第 13 回 西 日 本 軟 式 野 球 選 手 権 大 会	11 月 6 日(金) ～9 日(月)	大 津 市 他	27	大阪・大阪市信用金庫
第 54 回 中 部 日 本 都 市 対 抗 軟 式 野 球 大 会	11 月 13 日(金) ～16 日(月)	名 古 屋 市	13	開催地・イスコジャパン
日本スポーツマスターズ 2009	9 月 18 日(金) ～21 日(月)	静 岡 市 他	32	石川・DC 北野ジパング
第 31 回 全 国 中 学 校 軟 式 野 球 大 会	8 月 17 日(月) ～20 日(木)	北 谷 町 他	24	佐賀・佐賀市立諸富中学校
第 31 回 全 国 ス ポ ー ツ 少 年 団 軟 式 野 球 交 流 大 会	8 月 7 日(金) ～10 日(月)	札 幌 市	16	福岡・吉富少年野球クラブスポーツ少年団

国体総合成績（天皇杯得点）

1 位	兵 庫 県	74 点	5 位	岐 阜 県	42 点
2 位	群 馬 県	66 点	6 位	熊 本 県	34 点
3 位	香 川 県	58 点	7 位	高 知 県	26 点
4 位	北 海 道	50 点	8 位	佐 賀 県	18 点

5. 競技力向上事業

名 称	期 日	場 所	参 加 者	修了者
北海道・東北地区 技術指導員研修会	3月7日(土)～2日間	福島県・福島市	審判技術指導員	19名
関東地区 技術指導員研修会	3月7日(土)～2日間	埼玉県・さいたま市	審判技術指導員	23
北信越・東海地区 技術指導員研修会	3月7日(土)～2日間	愛知県・名古屋市	審判技術指導員	22
近畿・中国・四国地区 技術指導員研修会	3月7日(土)～2日間	広島県・広島市	審判技術指導員	34
九州地区 技術指導員研修会	3月7日(土)～2日間	長崎県・長崎市	審判技術指導員	17
技術研修員講習会	2月28日(土)～3日間	愛知県名古屋市	審判技術研修員	39
				14名

	ブロック	会期	会場	受講者
ブロック講習会	北海道	5.8～3日間	北海道・遠軽市	44名
	東北	3.20～3日間	福島県・福島市	32
	関東	3.14～3日間	千葉県・鴨川市	58
	北信越	10.23～3日間	長野県・中野市	43
	東海	11.21～3日間	岐阜県・大垣市	30
	近畿	11.20～3日間	京都府・宇治市	34
	中国	3.27～3日間	島根県・出雲市	45
	四国	10.2～3日間	愛媛県・松山市	27
九州	3.20～3日間	鹿児島県・薩摩川内市	21	
指導員研修員数	北海道、栃木、東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫各5名(一般登録2千以上) 茨城、群馬、埼玉、千葉、長野、静岡、岐阜、広島各4名(一般登録1千以上)他各3名			

6. 職業野球退団者の本連盟復帰者

17 支部より 24 名の申請があり、資格審査の結果全員復帰を認めた。平成 21 年 12 月末までの復帰者総計 399 名。(40 歳以上も含む)

NO	支部	氏名	退団球団	NO	支部	氏名	退団球団
377	東 京	元野 天心	福井ミラクルエレファント	389	徳 島	町田 勝司	徳島インディゴソックス
378	東 京	木藤 健一	福井ミラクルエレファント	390	長 野	下條 剛	信濃グランセローズ
379	香 川	井吉 信也	香川オリーブガイナース	391	東 京	川尻 哲郎	楽天イーグルス
380	鳥 取	曾根 大二郎	香川オリーブガイナース	392	高 知	吉門 喬志	高知ファイティングドッグス
381	滋 賀	本郷 宏樹	ヤクルトスワローズ	393	香 川	荒木 康一	香川オリーブガイナース
382	兵 庫	金谷 良太	徳島インディゴソックス	394	岐 阜	大澤 亮	福岡レッドワープラーズ
383	神奈川	丹波 幹雄	ヤクルトスワローズ	395	岐 阜	増田 朋也	福岡レッドワープラーズ
384	千 葉	山中 律俊	南海ホークス	396	福 井	長谷川 裕太	福井ミラクルエレファント
385	三 重	木村 吉久	長崎セインツ	397	福 井	加藤 朋人	福井ミラクルエレファント
386	愛 媛	町田 知之	愛媛マンダリンパイレーツ	398	群 馬	富岡 久貴	群馬ダイヤモンドベガサス
387	徳 島	山田 大二郎	徳島インディゴソックス	399	沖 縄	金城 幸之左	広島東洋カープ
388	茨 城	相原 雅也	高知ファイティングドッグス	400	香 川	松尾 晃雅	ボストンレッドソックス

7. 表彰関係

(1) 表彰委員会規程による表彰

21 年度の功労者（15 名）の皆様を本評議会の席上にて表彰する。

申 請	人 員	受 賞 者 名
北 海 道	1 名	澁谷 敏昭
東 北	2	菅原 郁夫（宮城） ・ 宗像 豊巳（福島）
関 東	2	三橋 隆之（埼玉） ・ 深井 精一（千葉）
北 信 越	2	武内 繁和（富山） ・ 田中 肇（福井）
東 海	2	坂野 功（愛知） ・ 前田 和夫（三重）
近 畿	2	平崎 末光（大阪） ・ 後藤 義見（兵庫）
中 国	1	永田 典也（島根）
四 国	1	真鍋 賢二（香川）
九 州	2	稗島 寛（福岡） ・ 長谷川 裕康（宮崎）
計	15	

- (2) 読売新聞社主催 平成 21 年度第 59 回日本スポーツ賞
競技団体別最優秀賞 ……セーレン(株) (福井県)

8. 助成金関係

(1) 公認コーチ養成(21年度第1回分)	1,368,000 円	日体協
(2) 国体派遣役員旅費	1,305,815 円	〃
(3) スポーツ指導者養成事業交付金	94,000 円	〃
(4) スポーツ振興基金(20年分)	1,000,000 円	独立行政法人日本スポーツ振興センター
(5) 選手強化事業交付金(平成20年度分)	500,000 円	JOC

9. 寄付金関係

連盟及び少年野球振興会

社名・団体名	全軟連	少年野球振興会(参考)
(財)ミズノスポーツ振興会		1,000,000
(財)日本高野連・朝日新聞社		1,000,000
(財)日本高野連・毎日新聞社		1,000,000
株式会社 エス・エス・ケイ	1,000,000	500,000
(株) ア シ ッ ク ス		500,000
ヤ ン グ (株)		500,000
株式会社 共同写真企画	1,000,000	
(有)ボールパークドットコム		34,500
※ベースボールマガジン社		782,500
合 計	2,000,000	5,375,100

※メモラビリア商品「BBM オーセンティックコレクション」売上金の一部

10. 協賛金関係

(1) 日本マクドナルド(株)より全日本学童大会の全国大会、支部大会、マクドナルドカップ大会を実施した支部、ブロックの他、全日本少年野球振興会へ協賛を受けた。

総額 52,500,000 円

(2) 全国労働金庫協会より「ろうきん杯」実施支部への助成金として、全日本少年野球振興会へ協賛を受けた。総額 2,940,000 円。

(3) 全日本学童大会に対し、全国新聞社事業協議会より 2,000,000 円、東京新聞より 1,000,000 の協賛を受けた。

(4) ミズノ(株)より全軟連に 500,000 円の協賛を受けた。

(5) (社)日本野球機構より「NPB12 球団ジュニアトーナメント」への協力に対し、525,000 円の協賛を受けた。

(6) 大塚製薬(株)より全日本少年春季大会の支部大会を実施した支部、ブロックへの助成金として総額 31,500,000 円の協賛を受けた。

※ 横浜市より全日本少年大会に助成を受けた。

1 1. 交付金関係

(1) 協賛金交付

イ. 47 支部に対し、マクドナルド協賛金を総額 14,922,200 円 交付した。

ロ. 47 支部に対し、ポカリスエット協賛金を総額 7,475,500 円 交付した。

(2) 公認用具普及費

イ. 9 ブロックに対し、総額 2,958,900 円を交付した。

ロ. 47 支部に対し総額 3,852,800 円を交付した。

(3) 関係団体助成金

8 団体に対し総額 3,400,000 円を交付した。

参考 少年野球振興費

全日本少年野球振興会より、47 支部および 9 ブロックに総額 12,963,000 円を交付した。

1 2. 各種全国大会後援関係

後援大会

- (1) 全日本大学準硬式野球選手権大会、全日本大学選抜準硬式野球大会、
全日本大学 9 ブロック対抗準硬式野球大会
- (2) 全国専門学校軟式野球選手権大会
- (3) 全国高等学校軟式野球選手権大会
- (4) 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会
- (5) 全国高等学校定時制通信制軟式野球大会
- (6) (社)少年軟式野球国際交流協会世界大会、全国中学生軟式野球大会
- (7) 全日本大学女子野球選手権大会
- (8) 全日本女子軟式野球選手権大会、全国高等学校女子軟式野球選手権大会
- (9) 全国青年大会
- (10) 全日本古希軟式野球大会
- (11) 全日本シニア軟式野球選手権大会
- (12) 全日本実業団野球全国大会
- (13) 全日本選抜還暦軟式野球大会、全日本還暦軟式野球大会
- (14) 全日本早起き野球大会、全日本選抜早起き野球大会
- (15) (社)全国野球振興会 全国草野球トーナメント
- (16) (財)世界少年野球推進財団 世界少年野球大会
- (17) 高野山旗学童軟式野球選手権大会
- (18) 毎日新聞社 くりくり少年野球選手権大会
- (19) 全日本トススペースボール大会
- (20) 全国官公庁野球大会
- (21) 実業団野球全国大会
- (22) 全国中学生 KB 野球選手権大会、KB 全国中学生秋季大会

1 3. 公認野球規則・競技者必携頒布

(1) 公認野球規則

支部、その他に 59, 100 部を有償、無償で 50 部を頒布した。

(2) 競技者必携

支部その他に、322 部を有償頒布した。

1 4. 全日本学童大会優勝チームの海外遠征(香港 2009 “A” ジュリアンカップ少年野球大会)

香港にて開催された本大会に学童大会優勝チーム、石川県支部の「西南部サンボーイズ」が出場した。本大会は香港棒球協会が主催している親善大会。

チームは見事準優勝を勝ち取り、日本の学童野球のレベルの高さを証明した。今後の国際交流・普及事業の為の有意義な大会となった。

主 催：香港棒球協会

期 日：12 月 24 日(木)～27 日(日)

参加国：中華台北、香港、日本

(3ヶ国)

団 長：野々市 孝(石川県野球協会 理事長)

役 員：滝 町 功(石川県学童野球連盟 理事長)

審判員：染 矢 儀 傳(全軟連技術委員)

戦 績：

予選リーグA組

	日 本	香 港	JAL ロッキーズ(香港)
日 本		20-0	8-0
香 港	0-20		
JAL ロッキーズ(香港)	0-8		

決勝トーナメント

準決勝

日本(A組1位) 20-0 ANA メッツ(香港)(B組2位)

決勝

日本 1-3 高雄(中華台北)

尚、遠征費用については大会参加費と国内移動費、監督1名・コーチ1名・出場選手13名・団長・審判各1名分の渡航費を全日本少年野球振興会より負担した。監督・コーチ・出場選手の香港宿泊費と帯同者及び保護者分の渡航費・宿泊費等々の費用はチームが負担した。

15. 連盟ホームページについて

昨年に引き続き、各種全国大会において試合速報を配信し、高円宮賜杯大会では開会式及び準決勝、決勝の動画配信を行った。又、連盟ホームページより大会参加申込書をダウンロードし、参加申込ができるよう利便性を高めた。

16. 開発途上国への軟式野球用具の寄贈について

昨年に引き続き、各支部の協力により集まった軟式野球ボールを中国(1,008個)・ケニア(1,440個)・フィジー(720個) 計264ダース(3,168個)寄贈した。

送付宛先については確実な用具の受け渡しの為、現地活動中の青年海外協力隊員及び日本大使館などに行っている。中国に限り5つの学校へ直接送付した。今後も世界の国々と情報交換を重ねて野球途上国へ寄付していくこととする。

尚、今年度は各支部よりボール以外の用具も贈っていただいたので、引き続きボール以外の用具寄贈も行っていきたい。

17. 国体軟式野球競技について

(1) 毎年実施要請の署名活動について

国体軟式野球競技毎年実施要請の署名活動を実施し、3月に日本体育協会へ1,212,962名分の署名簿及び要望書を提出した。その後も全国大会をはじめ、各支部より継続的に署名活動を実施し、平成21年12月31日現在、累計1,529,893名分の署名が集まっている。

(2) 今後の実施年について

今後の国体開催県に対しては開催地選択競技の該当年の開催地である岩手県及び福井県へ陳情、要望を行い、平成28年岩手大会については実施競技として正式採用されることが決定した。

18. ドーピング検査実施報告

第64回国民体育大会、第64回天皇賜杯にて実施。

国体：検体数 8 (全体で209)、うち陽性数 0

競技会 159 (16競技)

〃 外 50 (16 〃)

天皇賜杯：検体数 6 うち陽性数 0

19. 連盟規程一部改正について

連盟規程細則及び全国大会に係わる要領の一部を下記のとおり変更した

(財)全日本軟式野球連盟規程細則

現行	改訂後（案）
<p>(支部の周知事項)</p> <p>第7条</p> <p>2 連盟の全国大会の参加申込書は、参加資格を確認のうえ、登録番号、級別を記入し、支部長の印を押し、開催地実行委員会に提出する書類を同封のうえ、支部の責任において必ず期日までに送付しなければならない。</p> <p>(1) 送付先は次のとおりとする。</p> <p>イ 開催地実行委員会（二部）</p> <p>ロ 全軟連（一部）</p>	<p>(支部の周知事項)</p> <p>第7条</p> <p>2 連盟の全国大会の参加申込書は、参加資格を確認のうえ、登録番号、級別を記入し、支部長の印を押し、開催地実行委員会に提出する書類を同封のうえ、支部の責任において必ず期日までに送付しなければならない。<u>なお、提出方法は原則メール提出とする。</u></p> <p>(1) 送付先は次のとおりとする。</p> <p>全軟連（一部）</p> <p><u>(2) 開催地への送付は全軟連より行う。</u></p>

※下記全国大会に係わる要領に関連

現行	改訂後（案）
<p>第12条 4</p> <p>(4) 打者、次打者及び走者のヘルメットは、イヤーフラップが、片側若しくは両側についたもの。また、少年部は両側にイヤーフラップのついたものとする。ただし、学童部は、打者、次打者、走者及びベースコーチも両側にイヤーフラップのついたものを着用しなければならない。</p>	<p>第12条 4</p> <p>(4) 打者、次打者、走者、ベースコーチはヘルメットを着用しなければならない。一般チームの打者、次打者、走者は両側か片側にイヤーフラップのついたもの。少年・学童部はすべて両側にイヤーフラップのついたものとする。</p>

全国大会に係わる要領

現行	改訂後（案）
<p>第4条</p> <p>3 支部は、<u>支部長印を押し</u>、期日までに連盟及び開催地実行委員会に提出しなければならないが、会場の準備に協力し期日より早めに提出するよう努めること。なお、参加申込書の提出にあたっては、連盟規程細則第7条第2項に従うこと。</p>	<p>第4条</p> <p>3 支部は、期日までに連盟及び開催地実行委員会に提出しなければならないが、会場の準備に協力し期日より早めに提出するよう努めること。なお、<u>メール提出の場合は参加申込書の支部長印について省略できるものとし、提出にあたっては、連盟規程細則第7条第2項に従うこと。</u></p>